

課外授業ようこそ先輩 おしゃべりマジックで 強くなろう

放送日：2004年5月23日 放送時間：32分



対象校種 小学校高学年 中学校

対象教科 道徳 学級活動

この番組の良さ

● 自分自身と深く向き合うきっかけに

とぼけた語り口が持ち味のマジシャン・マギー司郎さんが、母校・茨城県下館市の養蚕小学校を訪ねます。「マジックをしながら自分のためなところを表現して、笑いをとろう」と後輩に促し、「劣等生だった自分は、そうやって個性的なマジシャンになれたのだ」と伝えます。マギーさんのエピソードや課題に挑戦する6年1組の子供たちの姿に触れることで、自分自身と深く向き合うきっかけになります。

● 短所も自分の個性として受け止める

「自分の欠点や弱みを口に出すことによって人は強くなれるのだ」と説くマギーさん。自分の短所から目を背けず、自分の個性として受け止めると共に、それを表現することで、短所も自分の特徴の一側面であることを理解することができます。

番組活用のポイント

● 自分自身を深く見つめる

「個性の伸長」とは、自分の良さを生かしさらにそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成してゆくことです。自分自身を見つめ、長所だけではなく短所にも目を向けてゆくことは、簡単なことではありません。本番組では、登場する子供たちに共感しながら視聴することにより、自分自身の生き方を深く見つめることができます。また、自分の欠点を認めて、さらけ出してこそ、相手の欠点も許容できるということに気付くこともできます。「だめな自分」と向き合う6年1組の子供たちに自分を重ね合わせながら、自分の特徴を多面的・多角的に捉えていくようにしてゆくことが大切です。

● 短所の捉え方を広げる

苦手なことや人に知られたくないこと、自分の嫌いな部分を人前でさらけ出すことは、誰にとっても避けたいことです。しかし、苦手なことを隠そうとするほど、自分の良さを伸ばしていくことを妨げることにもつながります。「だめな自分」に向き合い、それを表現することによって成功のきっかけをつかんだマギーさんのエピソードや、自分と向き合い一所懸命に表現しようとする子供たちの様子に焦点を当てることで、短所の捉え方や短所への向き合い方を考えるきっかけにしていくと良いでしょう。

● 肯定的に捉える

自分を見つめたり物事を前向きに考えたりすることが苦手な子に対しては、自分自身を否定しすぎたり、自己肯定感を下げたりしないような配慮が必要です。番組に登場する6年1組の子供たちが、「だめな自分」を言葉にして伝え、壁を乗り越えていく姿を価値付け、自分もそうありたいと思えるようにしていくと良いでしょう。心の奥底からかみしめるように出てくるマギーさんの言葉かけの一つ一つが、子供たちの胸に響くことでしょう。



執筆者
沼津市教育委員会
指導主事 加納 真